

に農業を経営していくかという積極的に農業を変革していくという姿があった。

つまり都市化により蚕食されていった農家と、その中で大都市に近いために各々が工夫を実現できる有利性を利用していく農家とはっきりと階層分化がおこっており、当然のことながら後者は少数派である。しかしこれが意識の問題だけで分化されていったのではなく、明らかに元からの農地の広さという条件が大きく働いていることは見逃せない事実でもある。

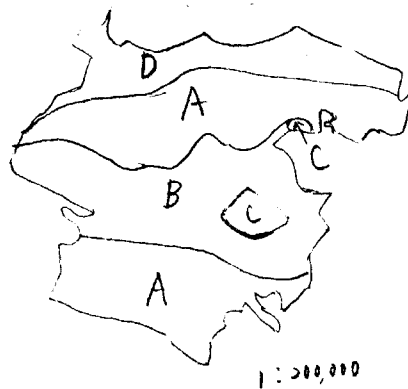
## 千葉県印旛郡印西町の集落地誌的研究

中 上 京 子

(1)目的：古村，新田，開拓部落と多様な集落から成る千葉県北西部の印西町をフィールドに選び，集落地理学の種々の側面からアプローチしてその地域性を明らかにしたい。

(2)枠組：先ず第Ⅰ・Ⅱ章で自然環境及び人文環境の点から印西町の概観を把握し，次に第Ⅲ章で本町の集落を形態，発達史，立地，機能の分野からとらえ，最後に集落を中心とする地域区分を試みた。第Ⅳ章では具体的に対象や地域を絞って本町の地域性の変遷を眺め，第Ⅴ章でこれらをまとめ印西町ので地域性を考察した。

(3)結果：①印西町の集落を中心とする地域区分は図のようになる。これは地形，水利，機能，発達史の4指標を総合して得られた結果である。形態との対応は表に示す通りである。



	地 形	水 利	機 能	発 達 史	形 態
A	(台地末端 谷底平野，盛土地， 斜面，下位面，中 性面，上位面)	不圧地下水面は低 所で浅く高台で深 い。管て絞り水が よく出た。	田畑型	古村（江戸時 代以前から）	塊村か列村か， これらの複合形
B	(台地中央 侵食谷沿いの中位 面，緩斜面，上位 面，凹地)	不在地下水面は地 表から浅い。宙水。 管て絞り水がよく 出た。	畑型	新田集落 （江戸時代以 降）	散村か列村
C	台地中央 （上位面）	地表から不在地下 水面までの深さは 20m位の範囲で異 なる。	畑型	開拓部落 （昭和期以降）	散 村
D	低 地 （自然堤防）	不在地下水面は地 表から浅い。本水， 管て，利根川・手 賀沼の洪水に悩ま された。	水田型	新田集落 （江戸時代以 降）	列 村

②昭和20年代まで本町は、台地上の平地林と畑、低地及び台地に刻まれた侵食谷の水田という風に極めて単調な土地利用がなされていた。山林に関しては大地主は存在せず、耕地と共に細切れた土地所有であった。それが30年代から工場、ゴルフ場等の都市的施設が建設され出し、40年以降は台地の過半がニュータウン地域に指定され、正にベットタウン化しつつある。

③木下河岸は17世紀後半の治水工事により、利根川舟運の一部がここで一旦途切れ、陸路に変換する接点として、繁栄し出した。更にこの地が、利根川沿岸の河岸の中で陸路江戸への最短距離を保っていたこと、三社詣客対象の木下茶船を設け物資のみならず旅客をも扱ったことが、河岸機能を高めた。こうして、本来は台地末端の竹袋村の切添新田とし開発された木下は、農業よりもむしろ交通商業機能に特化してゆき、やがて親村を凌いで発展する。明治末、成田線の開通や利根川堤防の構築による移転で、河岸機能を喪失するが、木下駅前に移転した家は商業機能を継承し、現在、印西町及び近接2村の地方中心商店街を形成しており人口も多い。

④江戸幕布の野馬立場用地であった台地の中央、侵食谷沿いに17世紀後半、百姓寄合新田である惣深新田が成立した。しかし干害、洪水、風害等の自然災害に悩まされ、150年間に戸数が半減する。明治以降も荒地、林地に囲まれた僅かな耕地で零細農業を営み、他から隔絶した後進地域であり続けた。昭和初期に東部の山林が開かれ飛行場が出現し、戦後その跡地に開拓農業部落(原)が誕生した。原は当初旱魃に苦しむが、多種類の作物や家畜の導入、機械使用、畑灌施設の設置等を経て印西町の先進農業地域へ発展していった。近年、この地がニュータウン用地に指定され耕地が半減すると、商品価値の高い施設野菜栽培や大規模專業養鶏等の集約的農業に重点が置かれている。

## 中野区の地理学的考察

### — 商業を中心として —

平 田 文 子

#### (1)研究の目的

本論文では、商業を第1の柱に、また人口を第2の柱として、中野区の地理学的考察を行なった。その目的は、23区における中野区の地理学的地位及び、中野区内の地域的特色を明らかにすることの2点である。

#### (2)研究の枠組

第I章では中野区を概観し、第II章では、本論文の第2の柱となる「中野区の人口と居住環境」について述べた。そして第III章では、今回の中心テーマである「中野区の商業」を扱い、第IV章に総括として、全体の要約を載せた。この中で、第II章は人口問題及び都市問題関係の文献を講読の後、国勢調査報告、住宅統計などの統計分析を中心に、研究を進めた。また、第III章では、商業地理学の文献を参考にし、且つ商業統計表と区役所資料の分析結果を元に、中野区の商業について考察した。そしてここでは、今回の研究目的のひとつである中野区内の地域的特色を調べるため、第2節卸売業、第3節小売業、第4節飲食業の箇所に、それぞれ「町丁別の特色」の項を設けた。なお、ここには現